

みなさん、明けましておめでとうございます。今年もすずき歯科クリニックをどうぞよろしくお願いします。

毎年、年が明けると一年の誓いとして医院の年間テーマを設定します。

ちなみに昨年のテーマは「変革」でした。結果、医院のシステムが大きく変わることができました。

そして今年のテーマは「果敢」に決定しました。

私自身も、スタッフも、積極果敢にトライして、自分の前に立ちはだかる壁をいくつも乗り越えて成長していきたいと思い、そうしました。一年後がとても楽しみです。

前号でも触れましたが、歯科医療は日進月歩。私たちが患者様に満足していただける高度で質の高い医療を提供するためには自己研鑽が不可欠です。

## 一生勉強・日々研鑽 (2)

当院には現在、休日返上でキャリアアップのためのセミナーに通っているスタッフが3名います。今回はその中の一人、歯科衛生士2年目のMが受けるセミナーについてお話したいと思います。

彼女が通うのは『DHアカデミー～歯科衛生士のトータルキャリアアップコース～』。1年間で9名の先生方から様々なことを学びます。その内容は、社会人としての礼儀作法・マナーから、コミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルの向上、歯周病治療や口腔内写真の撮影など技術的な実技指導に至るまで【真の歯科衛生士】に必要な16講座から成っています。年間16日も休日を返上して講義を受け、毎講終了後には研修レポート・研修報告書を提出する宿題までこなします。

彼女は歯科衛生士学校を卒業し、国家試験にもパスした立派な【有資格者】です。そんな彼女がなぜさらに、さらに勉強を重ねているのでしょうか。学校で学ぶのと、今働きながら休日を返上して学ぶのと、一体何が違うのか。

セミナー講師のお一人である土屋和子先生は受講生に向けて次のように仰っています。

『みなさんは仕事の“臨床力”に自信がありますか？高度な知識と技術力が必要な専門職である“歯科衛生士”という職業は、常に学びと行動によって表現されるものです。いかに学び、それを実践していくか…行動に移したものが得ることができる“臨床力”。貴重な学びを手に入れて“臨床力”を高めてください。』

実際の患者様の状態はお一人おひとり違います。また、性格やお口の悩み・歯に対する意識も人それぞれです。歯科衛生士に求められるものは、歯科医療人としての知識・技術だけでなく、患者様に安心・信頼していただける豊かな人間性やコミュニケーション能力など多岐にわたります。これらを兼ね備え、みなさんに満足していただけるような診断・提案・治療・予防ができる力こそ“臨床力”。セミナーで学び、戻ってすぐに実践…を繰り返しているこのスタッフは今、メキメキ“臨床力”を身につけているところです。

他の2名もまた違った内容のセミナーを受講し、それぞれのスキルアップに励んでいます。

斯く言う私も毎年、年間200時間を目標に様々なセミナーを受講しています。ほぼ、2週間に1日しか休みがありません。今年度メインセミナーは博多での受講。歯1本単位での治療を越え、全体の咬み合わせからより高度な診査・診断を行い、歯周病治療・矯正・インプラント・歯周外科・審美補綴などあらゆる技術を駆使して、お口全体の治療を進めていく…という内容です。知識を深め、実践的なトレーニングを重ねています。院長である私自身のそういう姿勢に彼女たちはついてきてくれているのだと思います。逆に言えば、勉強しない院長の下で働くスタッフは自己研鑽をしないと思います。

今回は1人のスタッフを紹介しましたが、セミナーに行っていないスタッフも皆、医院でのトレーニングは欠かしません。「一生勉強・日々研鑽」が医院の文化になっていることが私にとって幸せなことです。私も負けずに、自己研鑽に励みたいと思います。



練習台にもなります